

## 教員養成の目標および計画

平成27年 4月 1日

安田女子大学・安田女子短期大学の母体である安田学園は、「柔しく剛く（やさしくつよく）」を学園訓としている。「柔しく」とは、心遣い、気配り、思いやりといった人間としての品格、また「剛く」とは、意志、理性に加えて知識、技術等、自分を支える力を意味する。この学園訓は建学の精神を示すものであり、「人格の完成を目指して、学術や技能を磨き、徳性を身に付け、いかなる境遇にあっても女性らしい柔しさと、剛い意志を持って、社会に貢献できる心身ともに健全な教養ある女性を育成すること」（創立者・安田リヨウ）という、教育の基本理念をあらわす。

本学の教員養成の歴史は、広島県からの要請にもとづいて昭和5年に開設された広島女子教員養成所に遡ることができる。以来、安田学園ではその社会的役割として、一貫して教員養成を行ってきた。

上記の理念のもと、教員養成は、徳育を基本にした人間形成と学術・技能の修得による女性の社会的自立の達成、ならびに幅広い教養と豊かな人間性の涵養に重きを置いている。

上記理念実現のため、本学の教職課程については、次のように計画を立てて実現してきた。

### 1) 実践的な指導力の育成

教科に関する知識・技能の修得のための科目を、体系的・発展的に配置した。また、実践的な指導力の育成に主眼を置き実践理論と模擬授業を二本柱にした授業展開としている。

例 ○○教育法、○○教育法演習 など

### 2) 体験的活動の実施および運営

奉仕する精神、教師としての指導力・実践力を育成するために、大学・短大における各種行事や体験的プログラムを拡充し、積極的参加を促している。具体的には、

ア. 学生の自主性を重視した「オリエンテーションセミナー」や学科別ゼミ、各種講演会、学内外の文化的およびスポーツイベントの企画・運営

イ. ボランティア精神の昂揚を目指した学校等支援活動への参加

ウ. 我が国固有の文化への共感を育てる歴史的・文化的演習の取り組み

エ. 各種の海外研修プログラムにおける交流を通じた異文化理解により富んだ人材の育成であり、これらを通して教職課程の講義や演習のみでは身に付けられない教師としての資質の伸長を図っている。